

## 6周年記念し認定 スクールフェスタ

### JUIDA

日本UAS産業振興協議会（JUIDA、鈴木真二理事長）は9日、無人航空機の安全に関する知識と操縦技能の習得を目的としたJUIDA認定スクール制度を開始してから6周年になることを記念して「JUIDA認定スクールフェスタ2021」をオンライン形式で開いた。

冒頭、あいさつに立った鈴木理事長は認定操縦士の人数や開校数が順調に推移していることを報告した。また、2022年度に有人地帯での目視外飛行（レベル4）実現に向けた法改正が検討されていることを踏まえて「制度改正

によりドローンの産業利用の幅が広がる。空飛ぶクルマなどのアドバンスト・エアモビリティも含めて業界振興に向けた活動をしていきたい」と述べた。

続いて、KDDI、ACSL、日本郵便、総合研究奨励会日本無人機運行管理コンソーシアム（JUTM）の担当者がレベル4実現に向けた最新の取り組みを紹介した。

スクールフェスタでは、開校から1年以上経過した認定校を紹介・表彰した。そのほか、ことし7月に静岡県熱海市で発生した土砂流災害において、陸上自衛隊からの協力要請により被災状況を調査した事業者に感謝状を贈呈した。

